

2023年10月13日

各 位

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス  
 代表取締役社長 川井 潤  
 (コード番号：3387 東証プライム)  
 問い合わせ先 取締役 CFO 大内 源太  
 電話 03-5488-8022

通期連結業績予想の修正（上方修正）及び減損損失の計上、  
 並びに剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2023年4月14日に公表いたしました通期連結業績予想の修正（上方修正）及び減損損失の計上をするとともに、2023年8月31日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正（増配）について、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想について

(1) 2024年2月期連結業績予想数値の修正（2023年3月1日～2024年2月29日）

(百万円未満切捨て)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益	(ご参考)調整後EBITDA (注)
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	百万円
前回発表予想 (A) (2023年4月14日公表)	141,000	6,500	6,000	4,600	4,200	19.98	22,600
今回修正予想 (B)	143,000	7,400	6,900	5,500	5,000	23.78	24,700
増減額 (B - A)	+2,000	+900	+900	+900	+800		+2,100
増減率 (%)	+1.4	+13.8	+15.0	+19.6	+19.0		+9.3
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	118,240	5,083	4,565	3,878	3,385	16.11	23,664

(注) 当社は、業績の有用な比較情報として、調整後EBITDAを開示しております。

調整後EBITDAの計算式は以下のとおりです。

調整後EBITDA = 営業利益 + その他の営業費用 - その他の営業収益 (協賛金収入、雇用調整助成金、協力金及び賃料減免分等を除く) + 減価償却費 + 非経常的費用項目 (株式取得に関するアドバイザー費用等)

(2) 通期連結業績予想の修正（上方修正）の理由

売上収益につきましては、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類に引き下げられたことを受け、足元では国内消費の動きが活発になるとともに、訪日外国人の増加によるインバウンド需要の回復も見られ、主要な前提である「既存店売上のコロナ前比」が90.0%を超えて好調に推移しており、概ねこの傾向が下期も続くものと想定しております。従い、期初予想時点で89.8%と想定していた「既存店売上のコロナ前比」を91.1%へ上方修正した結果、前回公表の予想を上回る見込みです。

各利益につきましては、後述2.のとおり、保守的な減損損失の計上はあるものの、定着した筋肉質なコスト構造のもと、売上収益の増加に伴う利益の増加等により、前回公表の予想を上回る見込みです。

2. 減損損失の計上について

当第2四半期連結会計期間（2023年6月1日～2023年8月31日）において、国内外における加重平均資本コスト（WACC）の上昇等の影響もあり、当社グループの店舗固定資産及び使用権資産等につい

て、国際財務報告基準（IFRS）に基づき減損テストを実施し、将来キャッシュフローの回収可能性を保守的に検討した結果、合計で1,070百万円の減損損失を計上いたしました。

### 3. 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正について

#### （1）剰余金の配当（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 (2023年4月14日公表)	(ご参考) 前期実績 (2023年2月期中間)
基準日	2023年8月31日	同左	2022年8月31日
1株当たり配当金	3円50銭	3円00銭	3円00銭
配当金の総額	742,751千円	—	636,443千円
効力発生日	2023年11月13日	—	2022年11月14日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### （2）配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2023年4月14日公表)	3円00銭	3円00銭	6円00銭
今回修正予想		3円50銭	7円00銭
当期実績	3円50銭		—
前期実績 (2023年2月期)	3円00銭	3円00銭	6円00銭

#### （3）剰余金の配当（中間配当）及び配当予想（増配）の修正の理由

当社は、業績や財務状況、今後の事業展開等を勘案した上で、安定的な配当を行うことを基本方針としております。上記方針及び当第2四半期連結累計期間の好調な業績を踏まえ、中間配当につきましては1株当たり0円50銭増配し、3円50銭と決議いたしました。また、期末配当につきましても、前述の通期連結業績予想の修正を踏まえ、中間配当同様0円50銭増配の3円50銭とし、年間配当金は1株当たり7円00銭に修正いたしました。

なお、株主優待制度につきましては、引き続き実施してまいります。

(注) 上記予想数値につきましては、本資料発表時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なってくる可能性があります。

以上